

岩国市における地域公共交通活性化・再生総合事業
(岩国市地域公共交通活性化再生法協議会)

事業期間
21～23年度

少子、高齢化・過疎化の進展等により公共交通の利用者が減少傾向にある中、日常生活の移動手段を確保するため、鉄道・バスといった公共交通全体の一体的な改善を図るとともに、錦川鉄道の維持・活性化に向けた取り組みを行い、併せて地域の活性化を目指す。

【岩国市地域公共交通活性化再生法協議会】
 岩国市、岩国市交通局、錦川鉄道(株)、山口県乗用自動車協会、住民代表、錦川清流線を育てる会、学識経験者、山口県岩国土木建築事務所、地元警察署、中国運輸局山口運輸支局、(以下オブザーバー)山口県、中国運輸局

事業の概要(21年度)

パーク・アンド・ライド駐車場整備事業
3,020千円
 錦川鉄道3駅(河山駅、北河内駅、南河内駅)にパーク・アンド・ライド用の駐車スペースを整備



(南河内駅)



(北河内駅)



パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進に向け新聞によりPR



21年度 導入 への プロセス

①地域の状況

平成18年3月、旧・岩国市、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美和町、美川町の8市町村が合併し、広大な中山間地域を有する岩国市では、旧市町村の枠組みにとらわれない効果的・効率的な公共交通の維持・確保が課題となっていた。

②法定協議会設置・連携計画策定

こうした中、合併後の統一的なバス運行サービスの提供や少子、高齢化等により人口の減少傾向が続く中山間地域において、鉄道・バスといった公共交通全体における利便性向上や利用促進を図るなど、公共交通利用者数の減少に歯止めをかけること等を目標に、平成21年1月30日法定協議会を設置し、平成21年2月25日連携計画を策定した。

21年度 事業の 効果

潜在需要の掘り起こし

錦川鉄道3駅で行ったパーク・アンド・ライド駐車場の整備では、日常利用が整備前の7台から16台と2.29倍に増加し、整備効果が認められた。

観光利用の促進

パーク・アンド・ライド駐車場は、以前は観光利用がほとんど無かったが、PR効果もあり、休日利用が新規に平均17台あり、観光利用による効果が認められた。

マイレール意識の高揚

パーク・アンド・ライド駐車場整備後に、地元自治会からボランティア活動（駅に隣接する駐輪場上屋の改修や駅清掃等）の申し出がなされるなど、今回のパーク・アンド・ライド駐車場の整備が契機となって、駅の環境を良くしようという機運が高まっており、この事業は地域住民のマイレール意識の高揚に寄与している。

次年度 以降

生活路線を維持しつつ、鉄道の観光路線化を推進し、地域と鉄道の活性化を図る。

①情報発信の強化

観光利用の促進に向けて、錦川鉄道の沿線やイベント情報、錦川鉄道が運営する廃線あとを活用した遊覧車「とことこトレイン」情報等を、広くインターネットを通じてわかりやすく情報発信を図る。

②鉄道に乗る魅力の向上

錦川鉄道を訪れる観光利用者には、接客面でのよい観光イメージをもってもらうため、列車内でアテンダントによる自然、文化、観光案内を行い、鉄道に乗る魅力の向上を図るとともに、リピーターの獲得を図る。

③PR活動の強化

錦川鉄道の観光利用の促進や地域の活性化に向けて、錦川鉄道沿線の魅力やイベント情報等を雑誌や新聞広告等に効果的かつタイムリーに掲載し、錦川鉄道沿線の交流人口の増加による地域と鉄道の活性化を図る。